

事務事業評価表

平成13年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042-751-9142
担当部課名	消防本部	警防	課	救急対策
事務事業名	救急研修費	事業コード	23130	

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	3
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

救急救命士の資格を有する救急隊員に対して行う就業前教育の実施要領（消防庁通知）および救急業務実施基準第7条

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
救急隊員の救急現場および搬送途上における傷病者の容態観察、応急処置等の知識や質を向上させることにより、救命率の向上を図るものである		市民	
		対象数	61万
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
社会環境の変化に伴い救急事故も複雑化、多様化してきており、円滑な救急業務を遂行するために以下の研修を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士就業前研修 ・救急救命士生涯研修 ・救急 課程就業前研修 ・救急 課程生涯研修 ・救急隊員基本研修 ・救急隊員学術研究会 			
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	研修受講者の充実率		
	100%		
指標式	$198（研修充実者） / 198（研修受講者） \times 100$		
指標設定の意図	年間研修計画に基づき研修受講者の充実感を率で示す		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	100	b	
指標			c		d	
指標			e		f	
事業費	決算（予算）額	2,233	2,664	3,055	3,183	2,979
	人員・時間数	3人/年	3人/年	3人/年	3人/年	3人/年
	人件費	25,260	25,260	25,260	25,260	25,260
	その他経費					
	合計	27,493	27,924	28,315	28,443	28,239
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	研修計画に基づき達成した		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	近年の疾病構造に対応するため、高度な救急医療知識と技術を必要とする。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	人命の救出・救護の目的からして、費用対効果として表すことはできない。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市民へのきめ細かな救急サービスを実現するため、県等への役割の分担については、考えられない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	高度な知識と技術を身に付けた救急救命士を全救急隊(11隊)に配置している。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	救急救命士の業務範囲が拡大される可能性があり、更に高度な知識と技術を習得する必要があるため有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 心肺が停止した傷病者への、救急隊員の高度な応急処置と病院との連携により救命率の向上を図ることができる。</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 国の方針により更に教育時間が拡大される予定であり、コスト改善は考えられない。</p>	

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	国の方針により、全国的に救急救命士及び救急隊員の教育の充実強化が進められている。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	更に市民の救命率の向上を図るため、充実強化する必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--